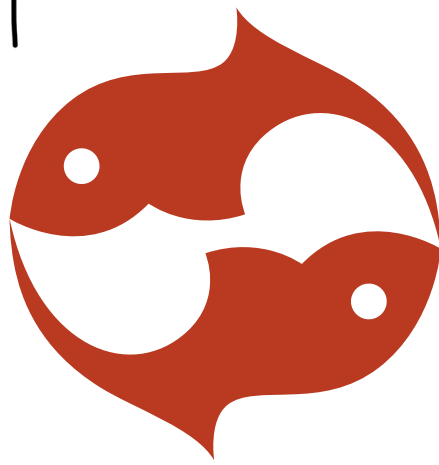


鯛せん デザインマニュアル

3 2 ニ 1)

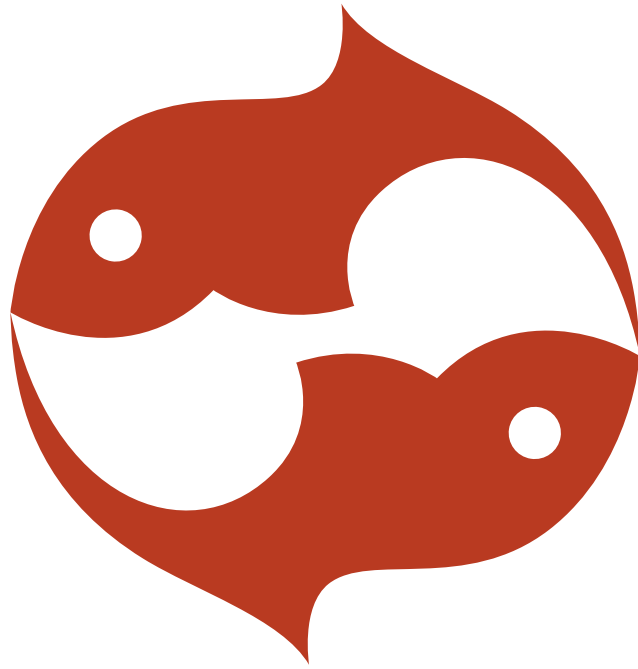


鯛せん



本デザインマニュアルは、シンボルマークを最も効果的に使用するための指針です。  
シンボルマークの使い方を整然と統一することによって、  
鯛せんのイメージを望ましい形で統一化し、  
定着させることができます。

鯛の胸びれとエラの間付近にある骨が、  
鯛の姿に似ていることから江戸時代には『鯛中鯛』と呼ばれて、  
めでたい鯛の中にある鯛ということで、  
縁起ものや、お守りとして珍重されていました。  
この『鯛中鯛』のフォルムを洗練させ、上下に配すことで、  
ハレの日がまた巡って来ると言う意味を持たせました。



---

### 最小使用サイズ

シンボルマークの視認性を保護するために、下記の最小使用サイズ以上の大きさと使用してください。  
ただし、媒体の制約があればその限りではありません。



10mm 以上で使用

ロゴタイプ



---

最小使用サイズ

ロゴタイプの視認性を保護するために、下記の最小使用サイズ以上の大きさと使用してください。



文字面の天地 10mm 以上で使用

## シンボルマークの保護域 (アイソレーション)

シンボルマークの象徴性・視認性を高めるために、シンボルマークの周辺に余白を確保します。この余白の中には、他の文字や記号、色をいれないでください。なお、指定された余白の外側であっても、個性の強い図形などは出来る限り遠ざけ、シンボルマークが引き立つように配慮してください。ただし、媒体の制約があればその限りではありません。



## 使用禁止事例

原則として、以下の使用は禁止いたします。また、以下の使用禁止例以外にも、著しくシンボルマークのイメージを損なう表現は避けてください。それ以外の使用は、下地に白を引いて使用するかモノクロパターンをご使用ください。



書体や字間行間を変更する



形をゆがめる



保護域に他の要素を加える



背景に白以外をつかう



マークを傾ける



指定色以外の色を使う



フチや影をつける

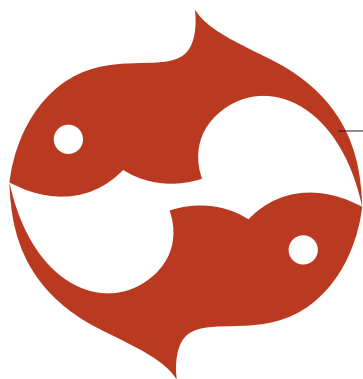


保護域より狭い範囲を白地にする

## カラー指定

---

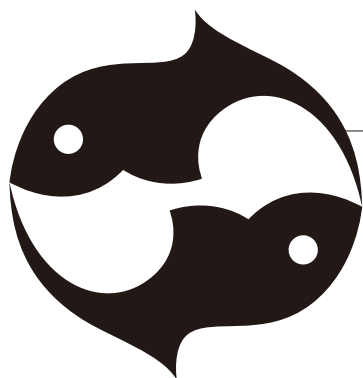
シンボルマークの色は、下記の指示にしたがってください。  
白黒印刷でシンボルマークを使用する場合には、モノクロで表示してください。  
ただし、媒体の制約があればその限りではありません。



DIC 2485  
CMYK C30, M90, Y100  
sRGB 185, 58, 33



DIC 582  
CMYK C40, M20, Y20, K100  
sRGB 9, 7, 13



[ K 100



[ K 100

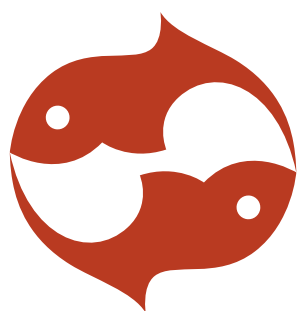
## 基本デザイン組み合わせ (シグネチャー)

---

シンボルマークとロゴタイプの組み合わせ例です。以下の中から最も適切なものを使用してください。  
レイアウトの大きさや位置については、使用媒体の効果を考慮し決定してください。



朝野



朝野